

# 【川内小学校】通学路対策箇所図 ①



危険箇所：3 凡例 ■ (危険箇所の状況)  
 ・路側帯のためにガードレールや段差がなく、路上駐車や白線を超えて走行する車がある。  
 ・緩やかなカーブのためスピードが出やすく、カーブを抜けるとすぐ信号がある。朝日と重なると信号が見えにくい。  
 (対策内容)  
 ・速度違反取締りの実施を検討中  
 ・道路陥没箇所の修繕済  
 ・学校から児童への交通安全指導継続

危険箇所：1 凡例 ■ (危険箇所の状況)  
 ・速度超過や信号無視をする車両が度々ある。  
 ・郵便局前の道路に路上駐車している車両が頻繁にあり、見通しが悪くなっている。  
 (対策内容)  
 ・横断者スイッチの向き修正  
 ・街頭指導の継続  
 ・学校運営協議会などで地域の方を交えて郵便局前の駐車問題の対策を検討  
 ・駐車禁止のシールを設置

危険箇所：2 凡例 ■ (危険箇所の状況)  
 ・見通しが悪く、児童がいても車から見えにくい。  
 (対策内容)  
 ・交差点内のカラー舗装及び3方向の道路標示を設置  
 ・「止まれ」シールの貼り直し

この背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから配信されたものである。

## 【川内小学校】通学路対策箇所図 ②



この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。